

寄居桜沢産業団地の

造成工事が完了

立地企業に産業用地が引き渡されました

町では、雇用創出や産業集積による地域経済の活性化を図るため、県企業局との共同事業で「寄居桜沢産業団地」を整備しました。

図 企業誘致戦略室 581・2121内線251・252



寄居桜沢産業団地

②調整池 (1号調整池)



③中小前田公園



④公共緑地 (秩父鉄道線南側の線路沿い)



■経緯
町では、平成20年3月に寄居町企業誘致推進計画を策定しました。その中で、今回産業団地となった「桜沢中小前田後」と「桜沢原地」の2地区を「企業誘致を推進する地域」に位置付け、平成21年3月に寄居町農村地域工業等導入実施計画の「工業等導入地区」に定めて、企業誘致を推進してきました。

その結果、平成30年度に県企業局と共同で産業団地化を検討することになり、県企業局が産業団地の事業可能性を調査し、町が地権者や関係団体への説明、町教育委員会が埋蔵文化財の発掘調査を行いました。そして令和元年7月、県企業局と町で産業団地整備事業に関する基本協定を締結するに至り、産業団地の整備事業が正式にスタートしました。



寄居桜沢産業団地位置図

■整備工事
整備事業が正式にスタートした後、多くの地権者のご理解とご協力により令和2年5月に用地取得が完了しました。令和3年2月に現地着工した造成工事は、予期しなかった新型コロナウイルス感染症等の影響による資材不足の状況下でありながらも、おおむね予定どおりに進捗し、令和4年12月にすべての工事が完了しました。

■産業団地の構成
分譲地は、各区分が宅地と緩衝緑地で構成されています。緩衝緑地とは、開発区域の面積に応じて、開発区域の内側に設置する必要があるものです。この産業団地の場合は、原則として幅員10メートルの緩衝緑地が設置されています。(管理/各企業)

②調整池・管理用通路

調整池は、秩父鉄道線北側の1号調整池と南側の2号調整池の2カ所あります。産業団地内の排水は、雨水排水も含めて最終的に調整池に流れ込むように設計されています。調整池に入った排水は、産業団地南側の既存水路へ放流されます。

また、1号調整池の管理のため、秩父鉄道線北側の線路沿いに管理用通路を設置しました。管理用通路の東側出入口には鍵がかかる扉があり、一般の方や車両の通行はできません。(管理/建設課)

③公園

秩父鉄道線南側に公園が設置されています。公園の名称は「中小前田公園」です。令和4年12月27日に供用を開始しました。(管理/都市計画課)

④公共緑地

1号調整池周辺と公園の北西側、秩父鉄道線南側の線路沿いに公共緑地が設置されています。このうち、秩父鉄道線南側の線路沿いの公共緑地は、一般の方の歩行もできるようになっています。(管理/都市計画課)

⑤道路・水路

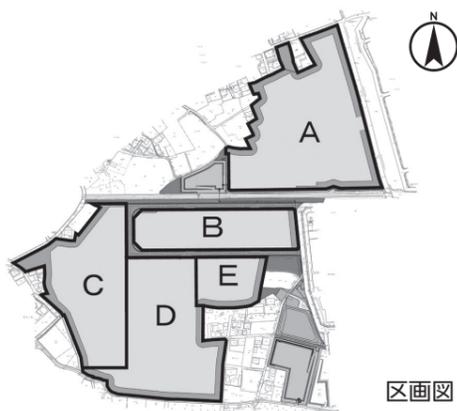
B区画を取り囲むように新設の道路が設置されました。この道路は歩道のある町道で、一般の方や車両の通行も可能ですが、西側(寄居中学校側)への通り抜けはできません。

また、公園と2号調整池の間の町道も、産業団地の整備工事と拡幅整備されました。(管理/建設課)

■立地企業

企業への分譲地は全5区画で、令和4年12月に県企業局から下表の4企業に引き渡されました。今後、この4企業による各事業所の建築が予定されていますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

区分	面積 (ha)	企業名(本社所在地)	建築予定
A	3.52	株式会社MCロジスティクス (新潟県魚沼市十日町352-17)	米穀類保管流通センター
B	1.42	株式会社諸長 (新潟県魚沼市十日町352-15)	玄米貯蔵定温倉庫
D	2.70		精米工場
C	2.29	株式会社ベルク (埼玉県鶴ヶ島市脚折1646)	食品加工センター
E	0.71	島崎木材株式会社 (埼玉県行田市桜町1-22-14)	木材加工工場



区分図